九州森林管理局長表彰 優秀賞 主伐・再造林部門 有限会社秋吉林業

既設の高密度路網を活用し、生産性の向上と作業コストの縮減

- 既設の高密度路舗を有効活用し、生産性を向上させ、生産 コストの縮減に努めた。
- グラップルによる地拵作業、フォワーダによる苗木運搬等、 密着造林による造林コストの縮減。
- ○県、市町村、森林組合、請負事業体等を対象に現地検討会を 実施し、一貫作業システムの普及に努めた。













コンテナ苗

現地検討会の実施

作業システム・生産性・生産コスト

○作業システム 作業地は、保育間伐(活用型)事業を実施した 際の高密度な森林作業道があるため、それを有効活用することで 生産性を向上させるとともに、グラップルによる地拵え、フォワーダ

による苗木運搬にも活用し、 作業システムと工程別生産性 造林コストも縮減できた。

〇生産性 12.3㎡/人日

〇**生産コスト 7.200円**/㎡



	伐倒	木寄集材	造材	集搬
使用機械	チェンソー	グラップル	プロセッサ	フォワーダ
人員配置	3人	1人	1人	1人
生産性 (㎡/人日)	41	39	74	70

安全確保の取組・環境配慮・担い手の育成等

○安全確保の取組

始業時は、当日の作業における危険因子等 について、作業者全員で意見を出し合い、 「十訓」を看板に掲げ意識を高め、チーム ワークを重視した作業の実現に努めた。

○環境配慮

外縁木には。トタン等を巻き付け損傷を防 いだ。

○担い手の育成

県主催の企業説明会等で積極的に募集し、 新規就業者の受け入れ。

事業個所の概要

●所在:熊本森林管理署管内

向原国有林(熊本県上益城郡山都町)

- ●主要樹種(林齢):スギ・ヒノキ(62年生)
- ●伐採面積:5.34ha
- ●伐区概要:本数 600/ha、蓄積 330㎡/ha
- ●平均単木材積:0.55㎡/本(平均胸高直径 28cm、平均樹高18m)
- ●平均林地傾斜:15度

伐採の概要

- ●伐 採 方 法:主伐、帯状50m伐(植込み)100m残
- ●伐採立木材積: 1.765㎡(330㎡/ha)●素材生産材積: 1.317㎡(247㎡/ha)
- ●利 用 率:75%
- ●平均集材距離:411m

再造林の概要

- ●地 拵:グラップル
- ●植 付:植付本数10,800本(2,022本/ha) ヒノキコンテナ苗(運搬:フォワーダ)